

2010年5月期(第12期) 第2四半期決算補足資料

2010年1月13日(水)

本資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で為した判断に基づくものです。しかしながら、現実には、通常予測しえないような特別事情の発生または、通常予測しえないような結果の発生等により、本資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社と致しましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めて参りますが、本資料記載の業績見通しのみ全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願い致します。
尚、いかなる目的であれ、当資料を無断で複写複製、または転送等を行わないようお願い致します。

- ・ 業績の底打ち
- ・ 成長への挑戦

【1】 第2四半期決算概要

売上総利益：売上高の減少 1,045 / 仕入の減少+690 / 製造原価の減少 +107
 特別利益：移転補償金 +82
 特別損失：事務所移転費用および固定資産除却損 19

	実績		前年同期比	
	10/5期-2Q (連結累計)	09/5期-2Q (連結累計)	増減額	増減率
売上高	1,288	2,333	1,045	44.8%
売上総利益	268	515	247	48.0%
売上総利益率(%)	20.8%	22.1%		
販管費	372	392	19	5.0%
販管费率(%)	29.0%	16.8%		
EBITDA	68	229		
営業利益又は営業損失	104	122		
営業利益率(%)		5.3%		
経常利益又は経常損失	104	125		
経常利益率(%)		5.4%		
第2四半期期純利益 又は第2四半期純損失	47	78		
純利益率(%)		3.4%		
EPS(円)	661.53	1,091.44		

(金額単位:百万円)

流動資産：現預金の減少 92 / 売掛債権の減少 184
 固定資産：のれんの減少 621
 流動負債：仕入債務の減少 78

	実績		前年同期比	
	10/5期 - 2Q (連結)	09/5期 - 2Q (連結)	増減額	増減率
流動資産	1,326	1,601	275	17.2%
現預金	972	1,064	92	8.7%
固定資産	394	929	534	57.6%
有形固定資産	39	18	+ 20	111.1%
無形固定資産	183	859	675	78.6%
投資その他の資産	171	51	+ 120	235.0%
総資産	1,720	2,530	810	32.0%
流動負債	347	520	172	33.1%
固定負債	45	58	12	22.2%
負債合計	393	578	185	32.0%
純資産	1,327	1,952	624	32.0%

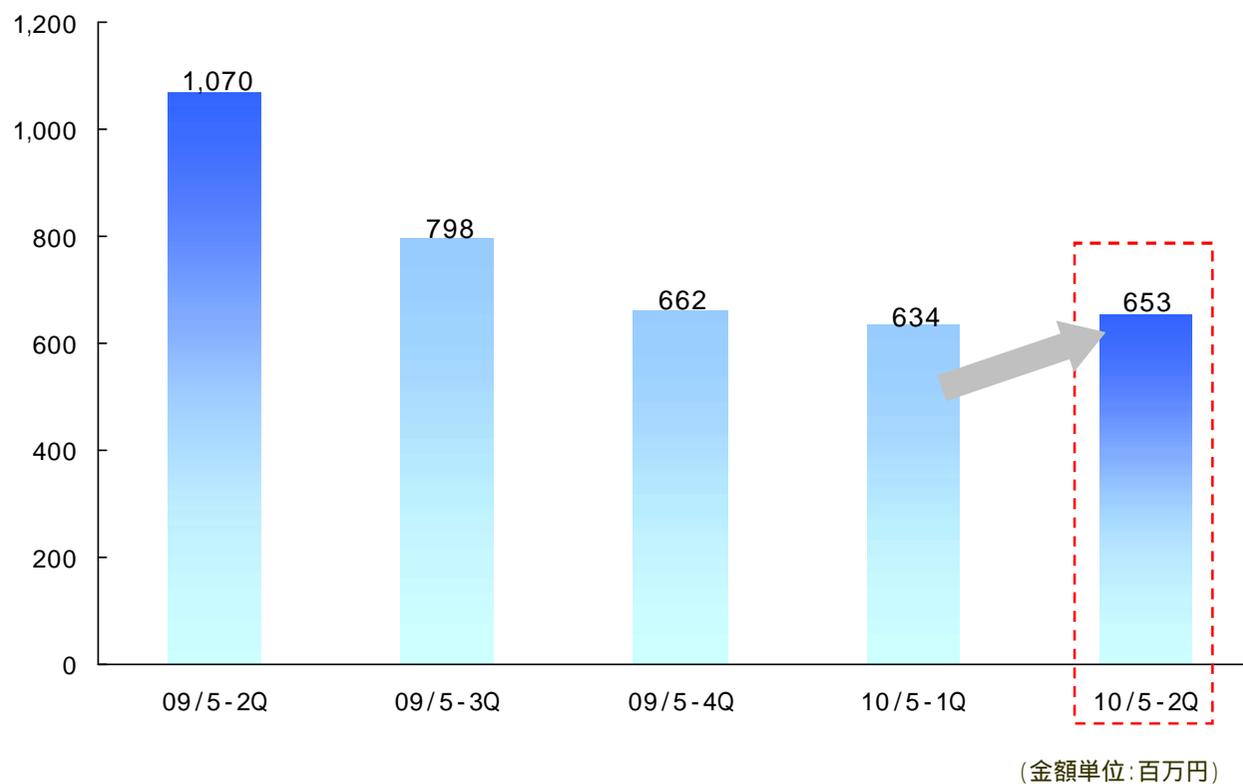
(金額単位: 百万円)

営業活動によるCF 211
現金及び現金同等物の期末残高 85

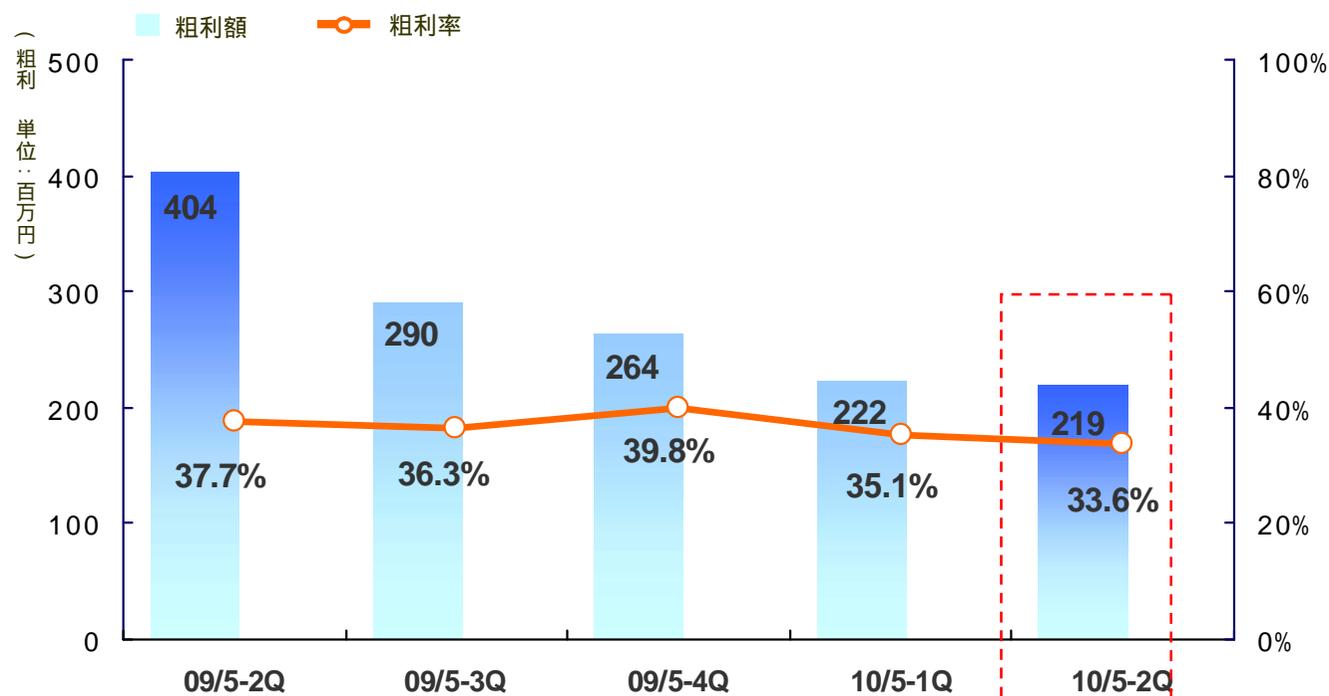
	実績		前年同期比
	10/5期 - 2Q (連結累計)	09/5期 - 2Q (連結累計)	増減額
営業活動によるCF	145	357	211
投資活動によるCF	70	62	7
財務活動によるCF	66	67	0
現金及び現金同等物の増減額	8	226	218
現金及び現金同等物の期首残高	947	814	+ 132
現金及び現金同等物の期末残高	955	1,040	85

(金額単位:百万円)

前年同期比 39.0%減(1070百万円 653百万円)
1Q比較においてP4P売上高が増加し売上高が改善(634百万円 653百万円)



粗利率 は1Q比較において同等に推移 (35.1% 33.6%)

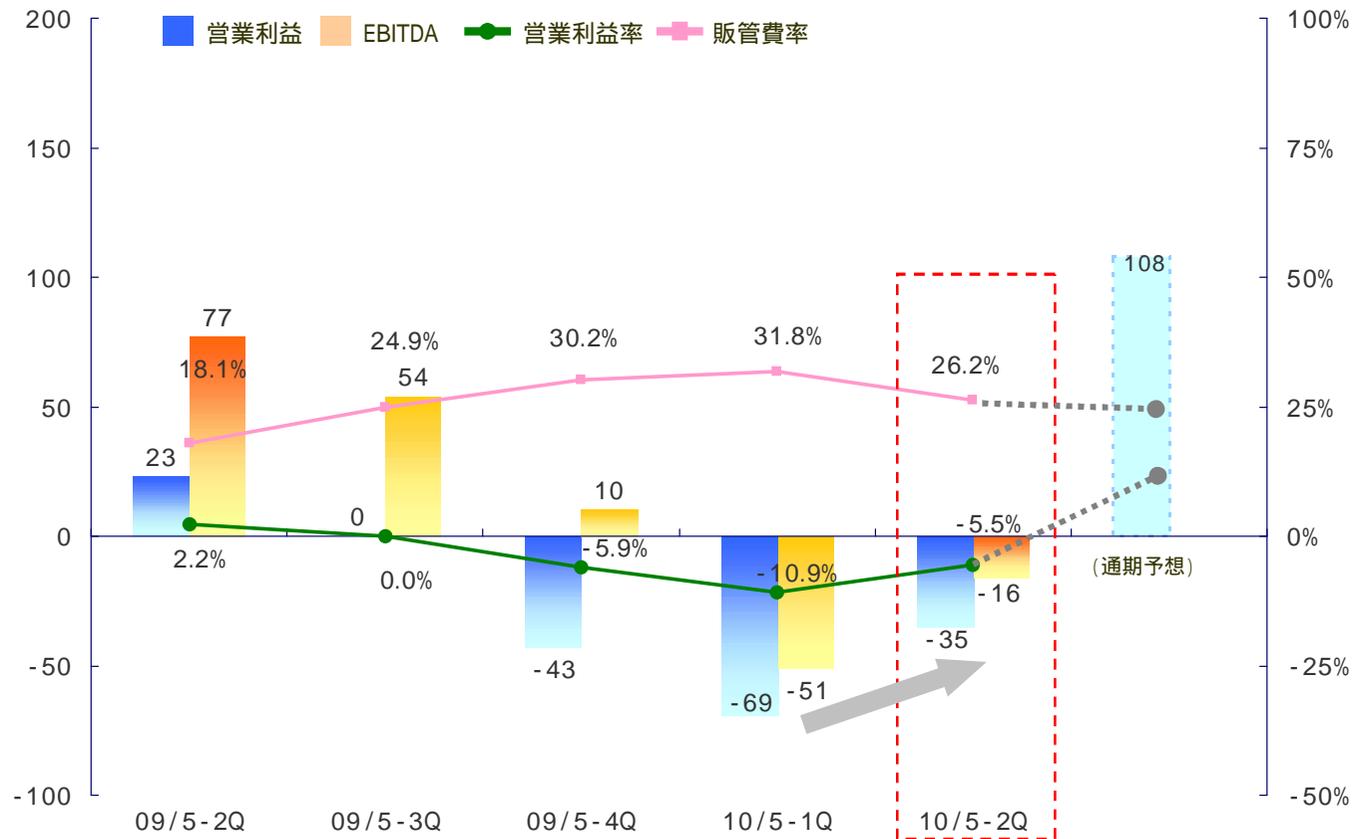


このページでの粗利は限界利益を示します。
(限界利益 = 売上高 - 変動費)

前年同期比23百万円 35百万円

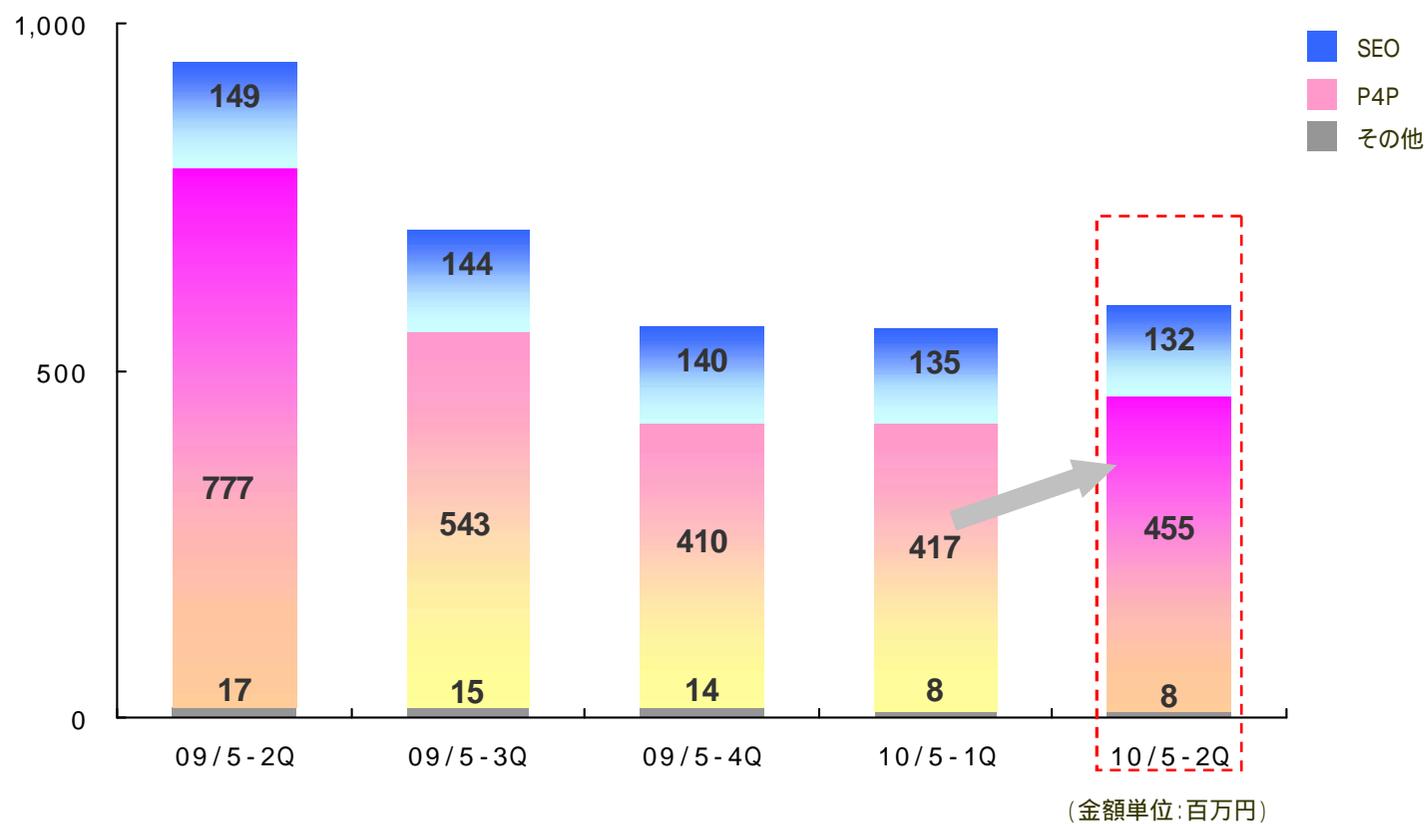
1Q比較において営業損失の改善(69百万円 35百万円)

1Q比較においてローコストオペレーションが奏功し、販管費率が低下(31.8% 26.2%)

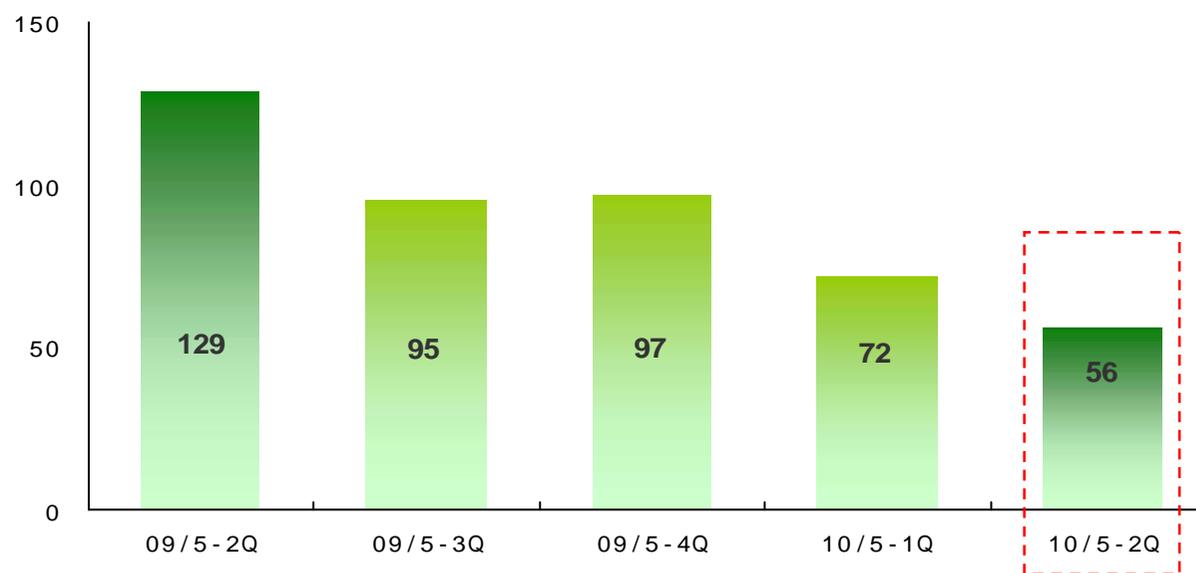


(金額単位:百万円)

P4P売上高が堅調に推移し、事業全体の売上高が回復(560百万円 595百万円)

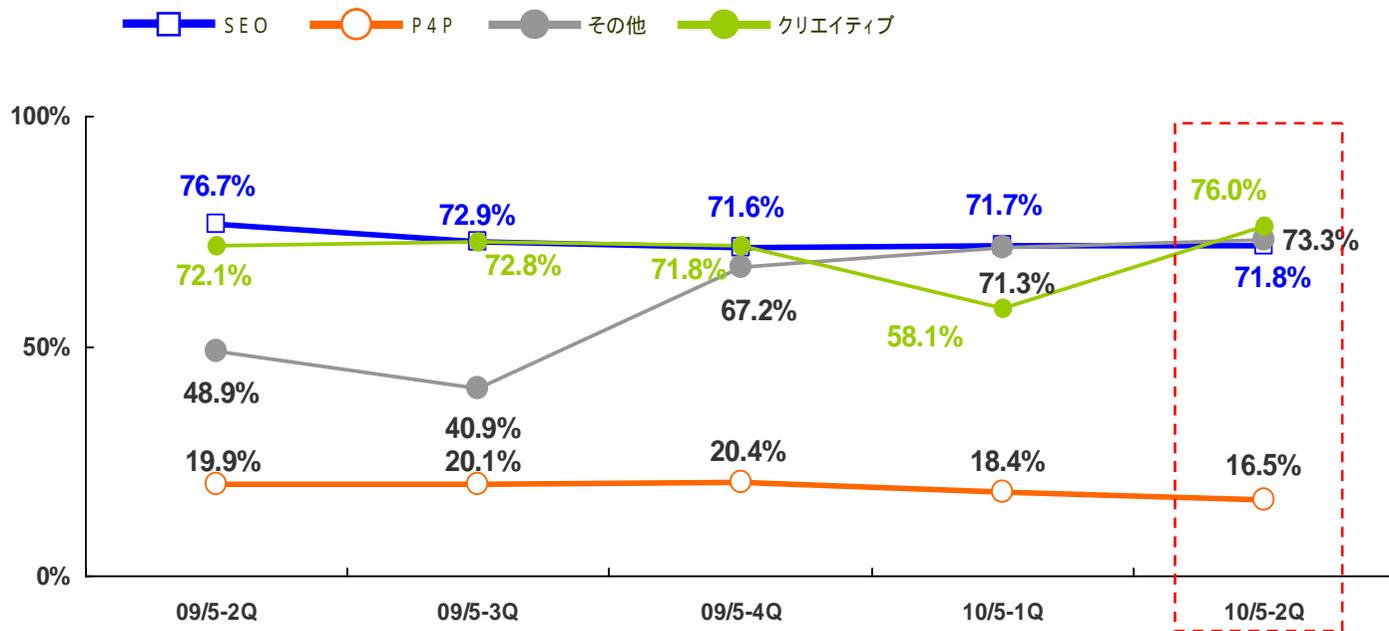


1Q比較において大手クライアントの広告宣伝費抑制の影響を受け、
キャンペーンの規模が縮小したため売上が減少(72百万円 56百万円)



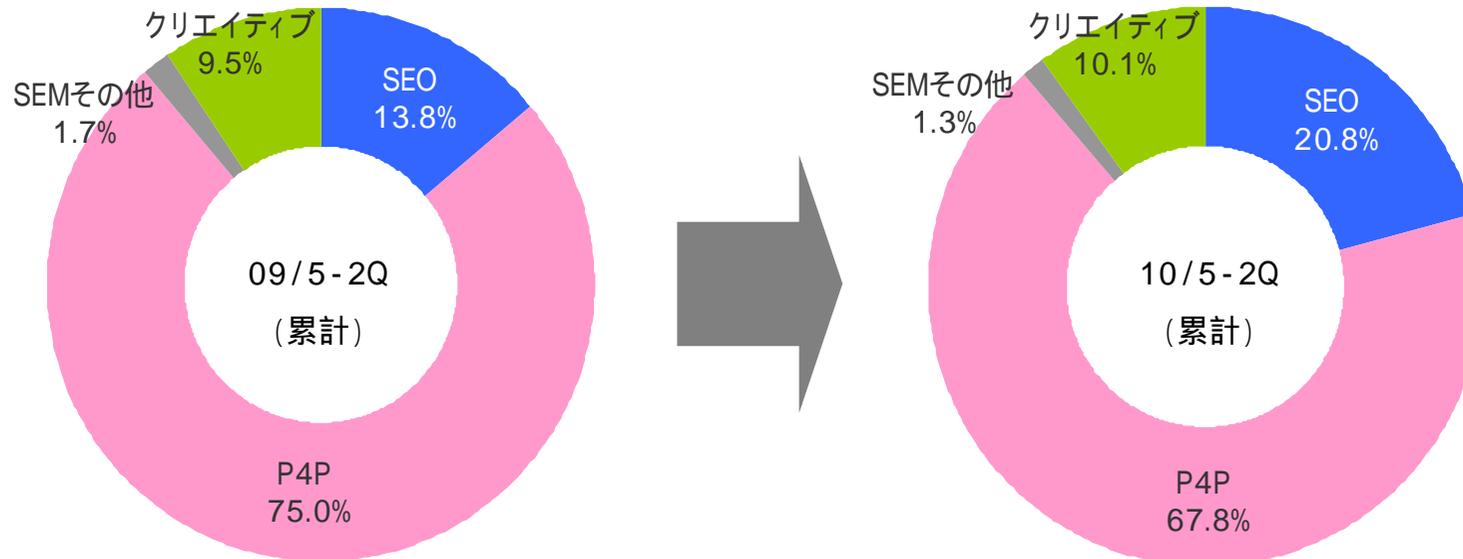
(金額単位:百万円)

クリエイティブ事業において外注費の削減により
1Q比較で粗利率が改善 (58.1% 76.0%)

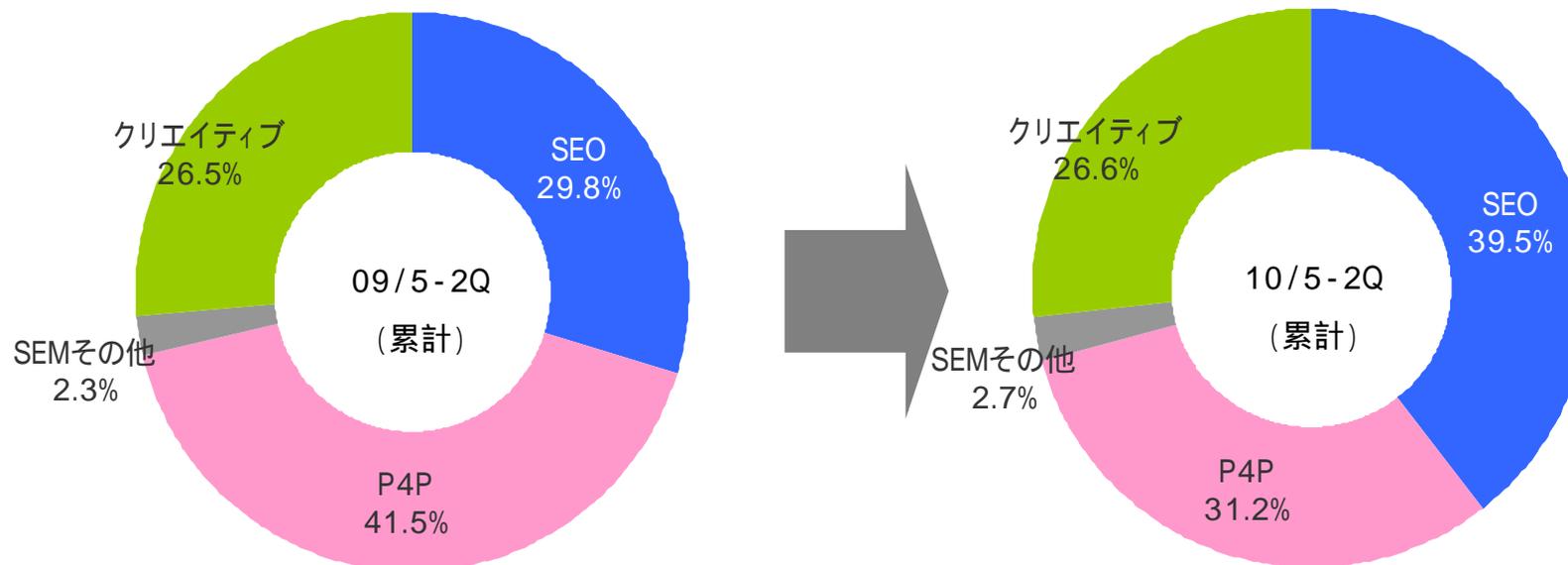


このページでの粗利率は限界利益を示します。
(限界利益 = 売上高 - 変動費)

利益率の高いSEOの売上構成比が向上(13.8% 20.8%)

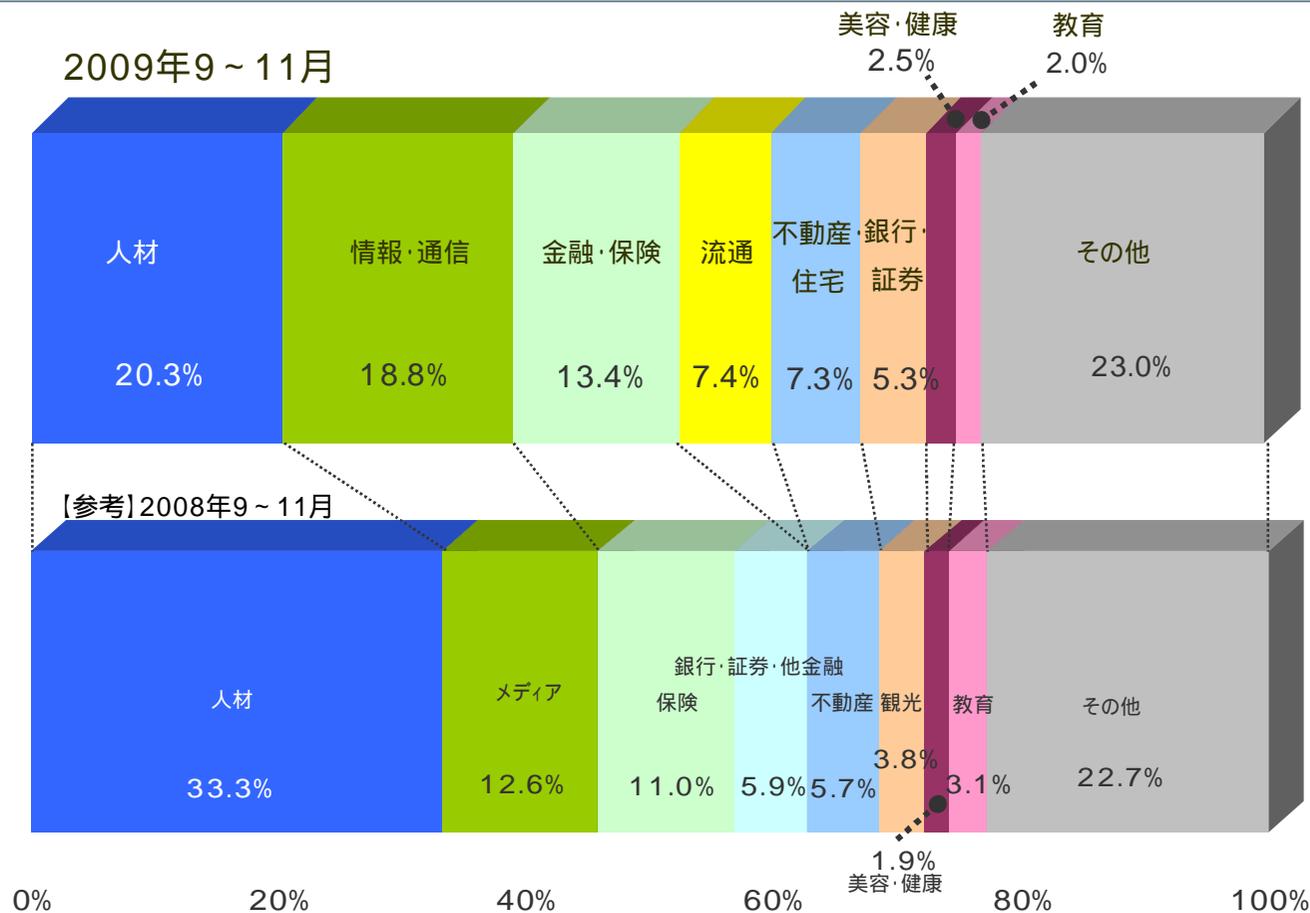


事業ポートフォリオの転換により粗利構成の偏りが軽減(29.8% 39.5%)



粗利は管理会計ベースの数値(売上 - 仕入)を示します。

顧客業種動向は「情報・通信」(12.6% → 18.8%)・「流通」(7.4%)が増加
 パーセンテージは、09年9～11月における全サービスの売上高をベースにて算出



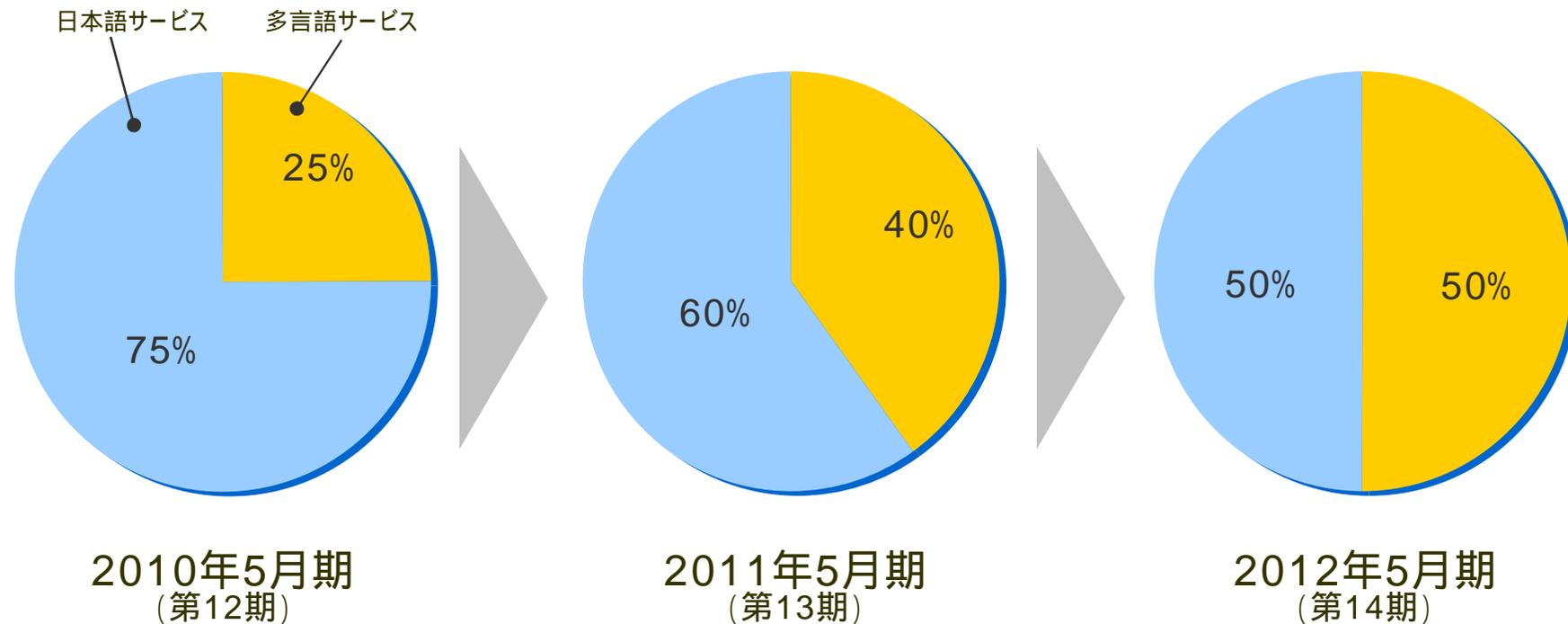
第2四半期より顧客業種属性の分類を変更し、新たに流通を追加しております。

	売上高	営業利益又は営業損失	経常利益又は経常損失	当期純利益又は損失
2010年5月期 第2四半期連結 業績予想	1,288 (44.8)	104 (-)	104 (-)	47 (-)
2010年5月期 通期連結 業績予想	3,042 (19.8)	108 (37.4)	140 (68.9)	109 (-)

(単位:百万円 / ()前年比率)

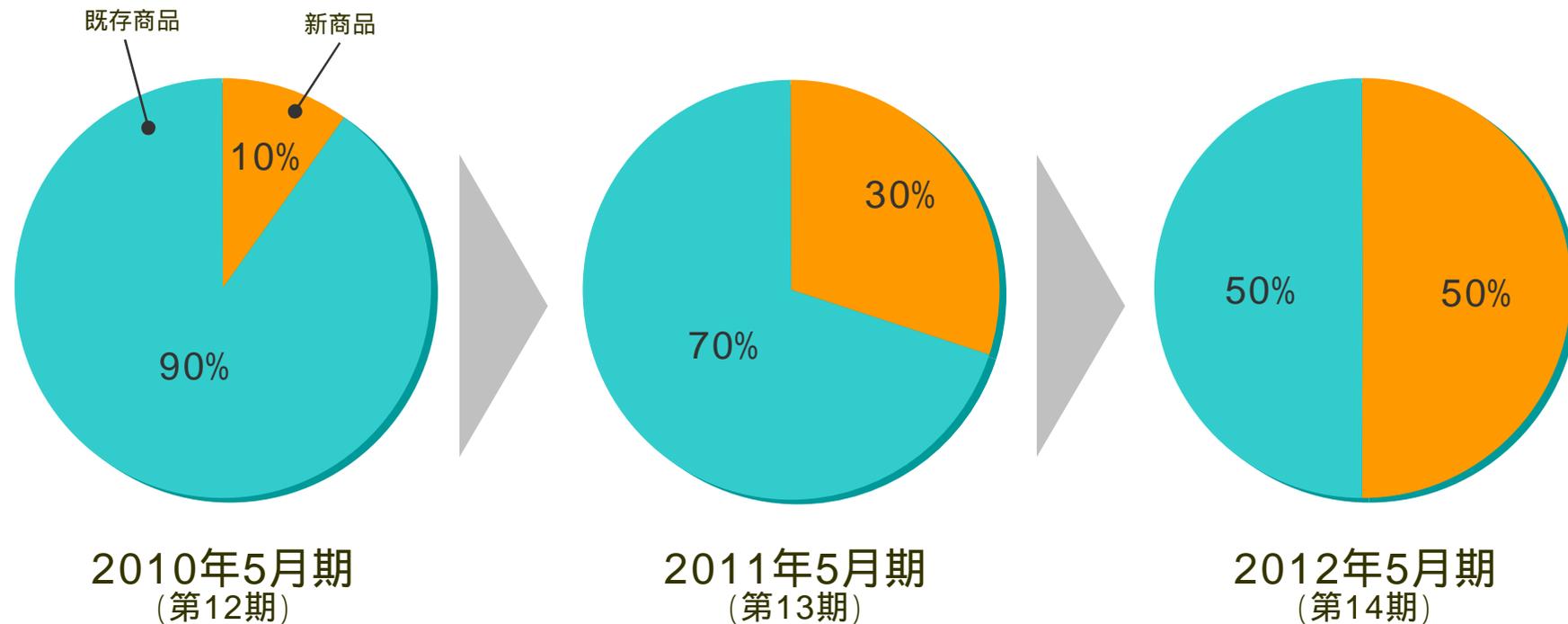
【2】事業の取り組み

売上高の50%を英語・中国語などの多言語サービスで
獲得できるように事業を展開



多言語サービス
メディア、エージェント、翻訳とクリエイティブ、BPOの一部にて
提供するサービス

既存商品への依存体質を脱却
内部育成により新事業および新商品の追加
新商品には継続基準を定め、業績への貢献度を判断



新商品

SEMとクリエイティブから派生した商品で、メディア、BPO、
エージェント、翻訳などのサービス

1. 事業ポートフォリオ転換
2. トップライン向上
3. ローコストオペレーション推進

AUN
(アウンコンサルティング)

SEM

メディア

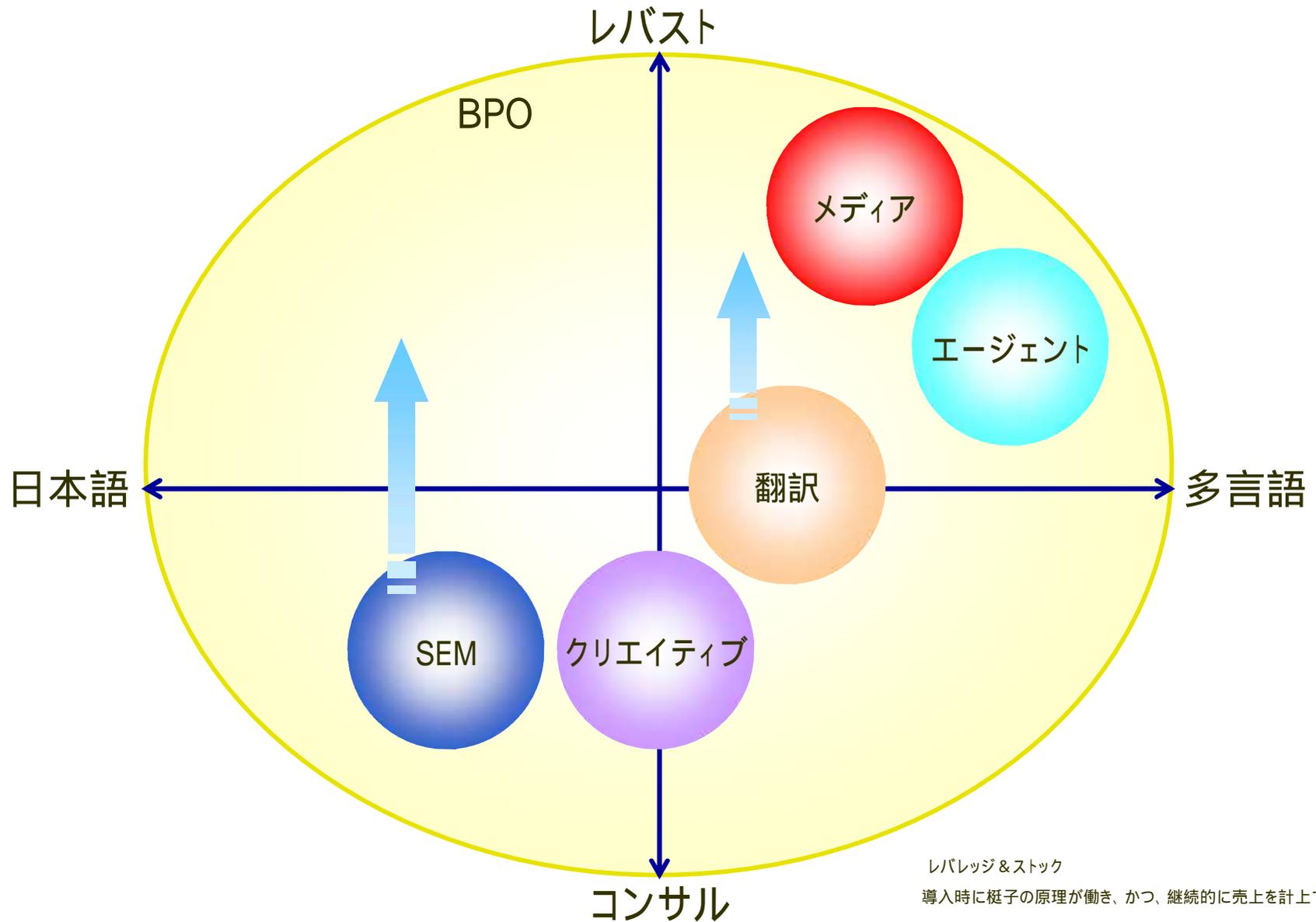
BPO

AGM
(アウングローバルマーケティング)

クリエイティブ

エージェント

翻訳



従来のSEM(検索エンジンマーケティング)に加え、 費用対効果の高い 新しいマーケティングサービスを提供

取り組み

ディー・ワークス社とモバイルSEO
アクセス解析機能を共同開発

アイ・ブロードキャスト社とモバイル
Flash自動システムを共同開発

iPhone向けアプリ収益化支援



Yahoo! JAPANの検索結果ページの場合

外国人向け情報ポータルサイト Visit First (日本版、英語・日本語)を展開 8,000件以上の情報を掲載

取り組み

Visit First (タイ版、日本語・タイ語)
版オープン (2009年12月～)
タイ版: 掲載実績数約1,200件



販促 (SEM、Web制作等) から管理系 (総務、人事、秘書など) まで 幅広いアウトソース業務をサポート

取り組み

インハウス向けSEM支援 (SEM
チケット) 販売強化
アウンアカデミー開始
(2010年1月から開講)



多言語におけるWebサイト、グラフィックデザイン (紙媒体)を制作 クオリティの高いマルチ制作を提供

取り組み

コンバージョン率を最大化する
ランディングページの作成
クオリティの高い実績を活かした
営業活動
英文広告総合研究所を設立



キヤノン / カメラ性能紹介



ソニー株式会社 / バイオ

採用企業様

味の素 / EPSON /
大塚商会 / オリンパス /
外務省 / 科学技術振興機構 /
カネボウ / コクヨ /
JR東日本 / ジャストシ
ステム / SONY / 東芝 /
ドコモ / パイオニア / POLA /
ホンダ (50音順)

中国を始め、アセアン地域における プロモーションを中心とした マーケティングのコンサルティング支援

取り組み

AsiaPac Net Media Ltd.(香港)
との業務提携契約締結

「事例で読み解く!中国ビジネス
実践セミナー」開催



世界64ヶ国語に対応し、各分野の 専門文書に対応 高品質な翻訳を低コストかつスピーディに提供

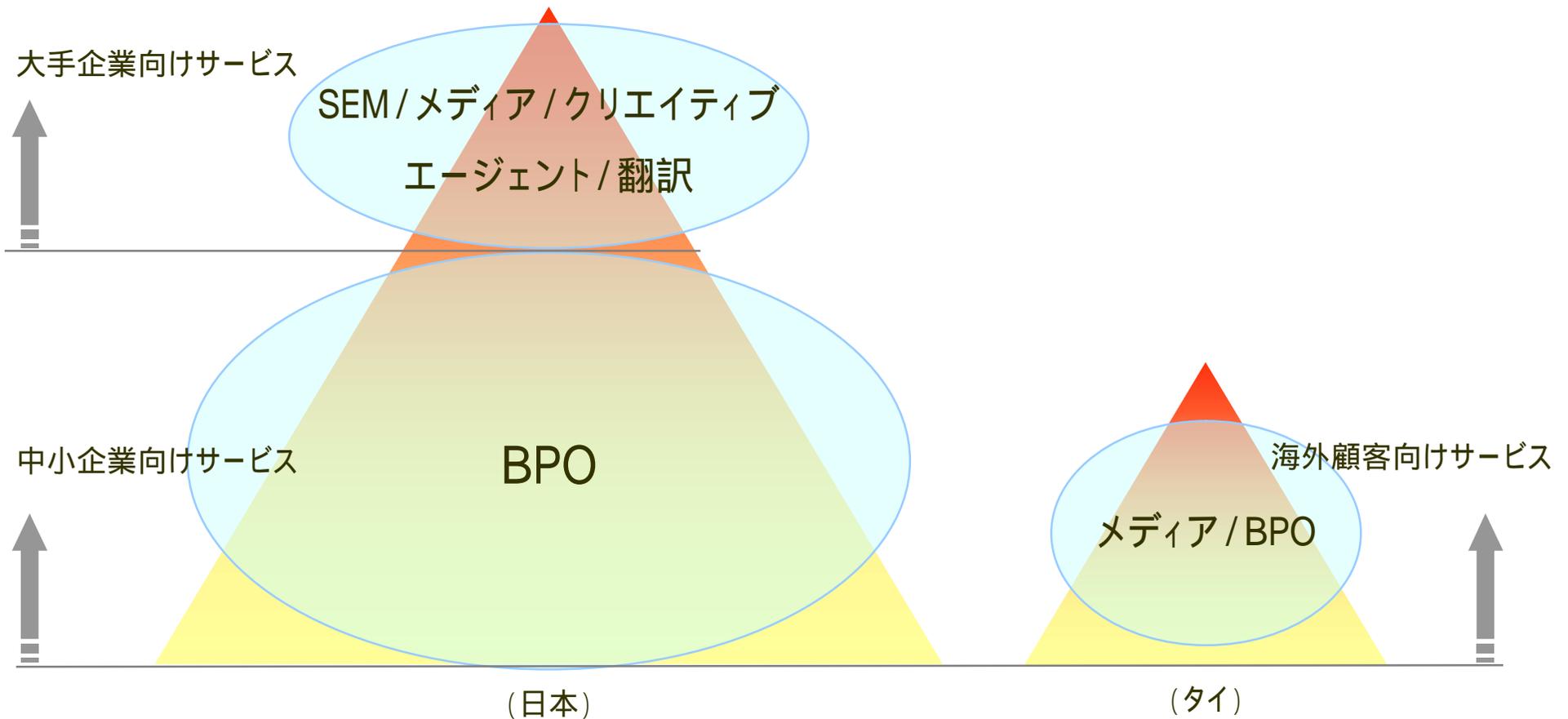
取り組み

取引企業実績1,800社

キャンペーン実施による販促強化



BPOによる新規顧客層の開拓
ATL(タイ)を生産拠点から営業拠点に転換



定期的なクライアントとのコミュニケーション強化

当社グループの各事業責任者より最近の状況報告を交えた社外報作成

アウンアカデミーの開催

多岐にわたる販促・マーケティングに関するノウハウを提供

iPhoneを活用したリアルタイムな営業活動

顧客管理システムを利用したクロスセル販売強化

社内評価(インセンティブ)の強化

営業活動の促進を目的としたインセンティブ体制を変更・拡大



アウンアカデミーは販促・マーケティングに関するあらゆる分野を網羅してあります。SEM(検索エンジンマーケティング)やSEO(検索エンジン最適化)、リスティング広告運用、Webマーケティング、SNS(ソーシャルメディア)マーケティング、見込み顧客開拓のためのWEB活用など、多岐にわたる分野を網羅して提供いたします。

大手企業様をはじめ、多くの業種のマーケティングにお力添えしている専門士業員や当社のSEM専任コンサルタントが講師。実践型研修の開催に加え、1対1の個別指導も多数ご提供いたします。

※全てが人財での研修となりますので、研修費用は研修内容により変わってまいります。



東京を営業・本社機能に限定しそれ以外の機能は全て移管
担当執行役員を毎月派遣

	SEM	メディア	BPO	クリエイティブ	エージェント	翻訳	管理
AOL (沖縄)	提案書作成・ コンサルサポート	コンテンツ翻訳	企画・ ディレクション	制作 ディレクション	提案資料作成 (日本語)	コーディネーター チェッカー	秘書・管理 サポート
ATL (タイ)	レポート作成・ データ集計・ 入札	コンテンツ収集	データ入力・ レポート作成	Web制作・ システム開発	キーワード作成 レポート作成	英語・中国語・ タイ語翻訳	秘書・総務 サポート

オペレーション業務の移管を促進

事業拠点 人数	AUN (アウンコンサルティング)	AGM (アウングローバルマーケティング)	AOL (アウン沖縄ラボラトリーズ)	ATL (アウンタイラボラトリーズ)	合計
人数	89	38	23	23	173

(2009年11月末現在)

役員(AUN、AGM)、臨時社員は含んでおります。
出向者は出向先にて集計しております。

卷末資料

設立	1998(平成10)年6月8日
資本金	339,576千円(2009年11月末現在)
マネジメントチーム	代表取締役 兼 代表執行役員 信太 明 取締役 兼 常務執行役員 橘川 徹也 取締役 兼 常務執行役員 棚橋 繁行 取締役 兼 常務執行役員 坂田 崇典 社外取締役 藤原 徹一 執行役員 中田 茂樹 執行役員 長島 徹弥 グループマネージャー 貝吹 寛光 グループマネージャー 菊池 明 常勤監査役 工藤 典久 監査役 中谷 正史 監査役 加藤 征一 監査役 松村 卓朗
本社	東京都文京区後楽1-1-7 グラスシティ後楽
グループ会社	アウングローバルマーケティング株式会社 アウン沖縄ラボラトリーズ株式会社 AUN Thai Laboratories Co.,Ltd.
社員数	163名[正社員のみ149名(グループ会社含む・役員含まず)](2009年11月末現在)



(証券コード:2459)

当社事業の取り組みに関して、有力媒体からの取材・掲載数増加

11/20 NNA「The Daily NNA - 香港・華南版」11/17号

アジアパック社との業務提携に関する記事掲載

11/16 観光経済新聞社「観光経済新聞」11/14号

「訪日外国人に関する調査レポート」紹介

11/ 2 観光経済新聞社「観光経済新聞」10/31号

ビジットファーストサロンについて紹介

10/30 日本経済新聞社「日経産業新聞」4面

アジアパック社との業務提携に関する記事掲載

10/26 日経BP社「日経ネットマーケティング」11月号

P4P及びSEOの市場規模予測が紹介

10/19 観光経済新聞社「観光経済新聞」10/17号

「英文広告総合研究所」設立についての記事掲載

10/13 日経BP社「日経パソコン」10/12号

検索エンジンの動向についてインタビュー記事掲載

10/ 6 日本経済新聞社「日経産業新聞」19面

「英文広告総合研究所」設立についての記事掲載

9/29 日経BP社「日経ネットマーケティング」10月号

中国市場向け日本企業支援企業として紹介

9/28 日本経済新聞社「日経産業新聞」26面

「SEOリサイクル」に関するいたビュー記事掲載

9/ 9 日本経済新聞社「日経産業新聞」4面

モバイルサイト向け新サービスについての紹介

9/ 5 観光経済新聞社「観光経済新聞」9/5号

外国人向け情報サイト「ビジットファースト」紹介

9/ 1 モーニングスター社「株式新聞」14面

グループ会社との相乗効果についての記事掲載

(2009年9月～11月実績)